

ほりぶら



やくよけ祖師 堀之内 妙法寺

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 3-48-8

Tel : 03 - 3313 - 6241

Fax : 03 - 3313 - 5007

<http://www.yakuyoke.or.jp>



表紙 御会式 おえしき
万灯練り供養 まんどうねりくよう

御会式とは、日蓮聖人のご命日にあたる10月13日に営まれる行事のことで、報恩感謝の気持ちを込めて万灯練り供養を行います。

日蓮聖人が亡くなられた時に庭先の桜が咲いたことから、お灯明で輝く宝塔に、うすばがみ薄葉紙で桜を表現した花をつけたものが万灯です。

まとい纏は江戸の火消し衆が同じように、感謝の気持ちを表したもので、今では欠かせない万灯の先導役です。

宗歌

日蓮聖人最晩年の弘安五年に詠まれた歌です。

「生涯を振り返ると、ほんとうに様々なことがあった。命を失わんとしたこともしばしばであった。しかし、この身延のお山は、釈尊が法華経を説かれた靈鷲山と同じ。木々を渡る風も、川の流れも皆法華経の教え。今こうして身延の山で弟子、信徒に囲まれ、法華経に生かされる日々を送っている私の心は、実に安穩で豊かである。身も心も晴れ渡つてすがすがしい。」との思いがこの歌に込められています。

この歌は弘田龍太郎氏が作曲。現在、日蓮宗の宗歌となっています。

宗歌

日蓮聖人御詠

立ち渡る

身のうき雲とはれぬ
たえぬ御法みのりの鷲うすの山風



私達の周囲にはいろいろな生物が生息しています 其れ等の中で『爪上の砂』と譬えられる人として生をうけ お釋迦さまの説かれた法華経・お題目との出会いは甚だ稀有なことであり奇蹟とも言えると思います この境遇・授かった掛け替えのない大切な命を ともするともも考えず当然のことのように振舞って生きる 粗末にさへすると言う人もいるようです その様な人はNHKのテレビ番組「チコちゃんに

叱られる」の賢い五歳の女の子に「ボーっと生きてんじゃない」と叱りつけられ その不心得を論じて欲しいものです 何気無く分かっている積りの言動を女の子に改めて問われ 答えに窮する大人の姿が何とも可笑しく笑いを誘い 正解を教えられ思わず納得・感心させられる楽しい放送です この様な大人顔負けの御生な子供はいるものですが 実際に五歳ほどの子といえはまだ幼気で弱い立場にあります 近頃この様な子供達の心傷む事件がとて多く 続く事が何とも気掛かりでなりません その一つに 目黒に住んでいた五歳の女の子が幼い一生を閉じました 父親に虐待を受け 食事も満足に与えられず痩せ細り 過度のストレスで寝たきり状態だったようです 父親の言い付けで 毎日自分で目覚まし時計をかけ早朝から仮名の練習をさせられ 見付かった大学ノートには覚えたての平仮名で「もうパパとママにいわれなくてもしっかりとじぶんから きょうよりもつとあしたはできるようにするから もうおね

がい ゆるして ゆるしてください おねがいます ほんとうにおなじことはしません…」小さな胸の中の精一杯の願いをどの様な思いで綴ったのでしょうか 母親に亡くなる数日前「もうご飯を食べられない」と弱々しく話したと言います 日蓮聖人は「仏祖三宝に信を入れお題目をお唱えするを信心である」と申され その一体なる事を「親の子をすてざるがごとく子の母にはなれざるがごとくに」と譬えられています 親にとり吾が子に勝る宝は無く 子供はその愛らしきで三歳までに一生分の親孝行をしてしまうと云われます 五歳と言えれば可愛い盛りでこの先どれ程孝行をしてくれたでしょう 何故この素直で健気な小さな命を大切にしなかつたのか 守る味方が現われなかつたのか胸が裂ける思いで此の記事を読みました

アジア人初のノーベル賞受賞者・インドの詩人タゴールの「どの赤ん坊も神はまだ人間に絶望していないというメッセージをたずさえている」と言う文章を新聞の「編集手帳」で目にしました 生まれて来る子供は親にとり掛け替えのない存在であり 国においても同様です 今の日本は少子高齢化が深刻な社会問題となつていますが 幼子への暴行・虐待といったものは社会の歪みから生ずるものかもしれません その社会から降り掛かるプラスチックが子供に向けてしまっているのかもしれない 自分には関係無い、という考えは慎むべきで 私達日本人の個々に関する事でもあり 将来にも及ぶ問題です 「因縁」という言葉があり気が遠くなりますが この世の中の有りと有らゆるものが関わりを持って存在します 私達人間は人と生まれて来た意義を當に認識し 確りと生きて行く事が大切です 国が 私達が 神・仏から見放されていない事を切に願いたいものです

日蓮聖人の手紙

(二十七)

妙揚寺住職 立正大学名誉教授 北川 前肇

「聖人と申すは、委細に三世を知るを聖人と云う。儒家の三皇・五帝並びに三聖は、但現在を知って、過・未を知らず。外道は過去八万・未来八万を知る。一分の聖人なり。(中略)。
法華経の迹門は過去の三千塵点劫を演説す。一代超過是れなり。本門は五百塵点劫・過去遠々劫之を演説し、未来無数劫の事をも宣伝せり。之に依つて之を案ずるに、委しく過・未を知るは聖人の本なり。教主釈尊は、既に近くは却後三月の涅槃之を知る。遠くは後五百歳の広宣流布、疑かひ無き者歟。」

訳

聖人と称される人は、詳細に過去世・現在世・未来世の三世を知る人を指しています。儒教で貴ばれている三皇(中国古代の伝説上の三天子)・五帝(中国古代の伝説上の五聖君)・三聖(たとえば老子・孔子・顔回)などは、ただ今の世のみのことを知って、過去世・未来世を知ることのできない人で(悟りを開かれている仏陀釈尊と比べると宗教的救いの力はそなわっていない)迷いの境地の人です。インドのヒンドゥー教の仙人は、過去八万年、未来八万年を知るといいますから、わずかに聖人の一分と言えるでしょうか、(法華経の久遠のみ仏と比較してみますと)、これらの仙人は迷いの人にすぎません。(中略)

法華経の前半に当たたる迹門の化城喻品第七では、釈尊ははるかな三千塵点劫という昔から今日に到るまで、娑婆世界(私たちの世界)の人々を救いつづけられていることを明らかにしています。このことが、釈尊のすべての教え(一切経)の中で最も尊い教えの根柢となっています。さらに、法華経本門の如来寿命品第十六では、はるかな過去世である五百億塵点劫の久遠が明かされ、しかもはるかな未来世に到るまでの救いが明らかにされています。ここに、久遠のみ仏が私たちすべての人々を救ってくださる根本が示されています。これらのことから、委しく三世を見透されるお力を備えられたお方が、聖人としての根本であり、それが釈尊にほかなりません。その仏教の教主である釈迦牟尼仏は、近くはご自身の三ヶ月後のご入滅(死去)のことを覚知されました。そのことから、未来世の末法の世に法華経の教えが世界に広まることは、疑いがないものと言えましょう。」

(原漢文・文永十一(一二七四)年『聖人知三世事』・昭和定本八四三頁)

解説

身延山に御入山の日蓮聖人が、下総中山の信徒である富木常忍に与えられた手紙の一節です。真筆は全五紙(重要文化財)からなり、第六紙目の日付、署名、宛名が欠けています。この手紙において、法華経に明かされる教主釈尊が、私たち凡夫を救ってくださる最上の方であり、儒教の聖人たちやヒンドゥー教の仙人たちの教えは、はるかにおよびないことを力説されているのです。

日蓮聖人の生涯

【第七回】

遠藤教温

龍口の法難 ― その二 ―

文永八年（一二七一）九月十一日に松葉ヶ谷で召しとられた日蓮聖人は、表向きは佐渡に流罪とされていましたが、内々には斬首することになっていました。

日蓮聖人は裸馬に乗せられて龍ノ口の刑場に護送されます。一行が鶴岡八幡宮にさしかかった時、日蓮聖人は「八幡大菩薩に最後に申すべきことがある」と馬を下り、社頭に立って、「いかに八幡大菩薩はまことの神

られています。

さて一行は、腰越龍ノ口に到着しました。信者の武士四条金吾頼基は、急を聞いて駆けつけ、馬の口に取りついて、「只今なり」と号泣し、「師が首を切られたならば、それがしも腹を切らん」と叫びます。これに対して日蓮聖人は、「ふかくの殿ばらかな。これほどの喜びを笑えぞかし」と言い、「もしそなたが地獄に入れば、日蓮も地獄に参ろう。そうすれば釈迦仏もまた地獄にまいられ、地獄は変じて仏の浄土となるでしょう」と静かに諭されました。いつでもどこでもあなたと一緒にだよ、という師のこの言葉は、四条金吾にとってこの上ない温かさをもって受けとめられたことでしょう。

か」と大音声を放ちました。「天照大神、八幡大菩薩はその昔お釈迦様が法華経を説かれた時に、『法華経を行ずる者を守護する』と誓いを立てたのに、今死に直面している法華経の行者をなぜ助けないのか」と八幡大菩薩を叱責されたのです。

また途中、日蓮聖人の姿を見た老婆が、あわててありあわせの餅にゴマをまぶして日蓮聖人に差し上げるといふ場面もありました。今でもこれは、「御難のぼたもち」として片瀬の常栄寺（ぼたもち寺）や龍口寺などに伝え



九月十二日の真夜中、日蓮聖人は首の座につきました。平頼綱を中心に多数の武者

が取り囲んでいます。かがり火が燃えています。太刀とりの武士が日蓮聖人の後ろに立ち、太刀を振り上げたまさにその時です。

江ノ島の方角から閃光が走り、「月のような光り物」が毬のごとくに飛び、東南から西北に光が激しく流れました。毬のような光の塊は平頼綱の頭上にかかり、頼綱は色を失いました。周りの武者たちも、落馬する者、うづくまる者、逃げ去る者など右往左往し、日蓮聖人のそばには一人もいなくなっていました。聖人は、「夜が明けたら見苦しい。急いで首を斬るがよい」と声をかけ

ましたが、返事をする者もありませんでした。

こうして日蓮聖人は斬首を免れました。聖人の四大法難の一つ「龍口法難」です。今、この刑場跡には日蓮宗の本山龍口寺があり、九月十二日の龍口法難会には県内外から多くの信徒が参詣し、深夜まで賑わいます。

日蓮聖人は龍口法難という自らの命にかかわる実体験を通して法華経の尊さ、有り難さを再確認し、「仏の使いとして生まれ変わった日蓮」の自覚を新たにされたのです。



法縁



めぐりくその十九

日蓮宗の寺院は、全国に約五千ヶ寺あります。その中でも、特に縁の深い寺院のつながりを「法縁」と呼んでいます。ここでは、堀之内妙法寺を中心とする「堀之内法縁」に属する寺院を紹介していきます。

大光山千葉院 中道寺

中道寺縁起沿革

当山は大光山千葉院と号し日蓮宗の寺院としては杉並区内でも古刹の一つに挙げられます。当山所蔵の第三世日治上人の記した『中道寺由来記』によれば、天正十年（一五八二）に大光院日道上人がこの地に草庵を建て



住職 山形教亨

たのが開創で、その弟子二世日法が、元和二年（一六一六）に大光山中道寺と称したとされています。やがて寛永十三年（一六三六）に下総国（今の千葉県）の豪族千葉氏の家臣で、この地に土着した宇田川家が旧主の菩提のために土地を寄進し、それによって堂宇が整えられた

と伝えられております。現在でも当山の檀家の三分の一がこの宇田川姓を名乗っております。

現在当山は、堀之内妙法寺の法縁であります。その昔は安房小湊誕生寺の末寺として本末の關係を持つていたようです。

さて境内に目をやると、現在



▼祖師像



の本堂は昭和四十年に完成した総檜作りの大堂がそびえています。三十九世山形教俊日宣上人の思いを具現化した建物ですが、教俊上人志半ばに遷化をされ、その後を四十年世教道日惠上人が引き継ぎ完成を見るに至りました。八間四面の

時の住職であった十九世凌善院日喜上人が発願し、二十世太冲院日精（太裕院日晴）上人の代に完成をしました。鐘楼と門とを兼ねるといふ珍しい建築様式は、区の重要文化財の指定を受け、大晦日には鐘撞きの人が

宝形（方形）造りで、高さ約十五メートル、頂上には火炎宝珠を頂いております。

次にひときわ目を引くのが、本堂正面にある鐘楼門です。安永二年（一七七三）



▲境内から見た鐘楼門



▼ご宝前



▲中道寺本堂

後を絶ちません。この日精(日晴)上人は学徳共に優れ、総本山身延山の第五十六世の狛座に座られております。また十八世教山院日沾上人も五十世の狛座にあり、当山はその格式を有する寺院であることをうかがい知ることができます。

本堂横にある約三間四面のお堂は鬼子母神堂で、祈祷堂の額があることから、江戸中期より盛んにご祈祷が行われていたようです。お堂の名の通り、まさしく中心に鬼子母神様をお祀りして、脇士には七面大明神、



▲鬼子母神堂

十羅刹女、ほかには大黒天、帝釈天、北辰妙見大菩薩、三十番神、歳徳玉女神等が鎮座され、現在でも講中を結成しお参りを欠かされたことがありません。



▲鐘楼門両脇の仁王堂

境内南、鐘楼門の両脇には、仁

王堂が建てられております。平成十四年に四十世教道日恵上人が発願、立教開宗七百

五十年慶讃事業として平成二十二年にお堂が完成、落成を見ました。

境内北西に位置する堂宇は、不動明王をお祭りする建物で、宝暦六年(一七五六)の銘がある石碑を安置しております。この石碑は、



▲公道を挟んだ境内北西の堂宇と不動明王

また境内には、妙王稲荷大明神が祀られております。このお稲荷さまは、かつて関東管領上杉顕定が家臣、中田加賀守の守護神であったとされ、大正年間に当山に奉安されたとのこと

当時村人を苦しめた熱病を鎮めるために建てられたもので、霊驗顯著なることこの上なしと云われ、現在でも厚い信仰を集めています。

▼お稲荷さまも出迎えてくれます



中道寺は約四百四十年余りに亘つて、荻窪の地に緑豊かな境内を有し、これまで御題目と共に歩いて参りました。当山を支えて下さった檀信徒お一人お一人の力によってこの事実が証となっております。



◀参詣者を見守るお地藏さん

中道寺

〒167-0051 東京都杉並区荻窪2-25-1

☎03-3398-2464

【交通】●JR荻窪駅南口から徒歩12分、タクシー5分

お祖師様と私

このコーナーでは、当山とゆかりのある方々をご紹介いたします。

第二十七回

妙法寺門前通り商店会会長

かわづ はじめ
河津 一さん



私が妙法寺門前通りに、美容室STEP1を開いてはや三十年が過ぎました。ご縁をいただき

いて今年度より、商店会の会長をさせていただいております。

思い出しますと、三十年前は縁日にも活気が

あり、環七通りの入り口から山門まで出店がところ狭しと並んでいて、大変賑やかでした。その頃は息子もまだ小さく、よく出店でくじ引きをしたのですが、ひもを引っ張ると手前はすごい景品なのに、大体奥の小さな景品しか当たらずに大笑いしたものでした。

今、商店会では「ふれあい祭り」や「千日紅市」という、子供がたくさん集まるようなイベントを主催しており、当日は約一万五千人の方々のご来場下さりました。これからの縁日も妙法寺様と協力して、子供・親・おじいちゃん・おばあちゃんとおみんなが楽しめるものを目指していきたいと思っております。そして、堀之内全体が活気で溢れ、親しみのある住みやすい街になるように、町内の皆様と共に協力していけたらと思いますので、これからもよろしくお願い致します。

毎月の行事「写経会」

しやきようかい

毎月行われている行事は何があるの？

まず毎月二日・十三日・二十三日は縁日となっております。それについては前号にて解説しておりますので、今号ではそれ以外にも毎月

行っている行事の一つ「写経会」についてお話し致します。

写経会って何？

みんなで集まって写経をする会です。写経

とは経文を書写することで功德を得るといわれ、法華経では五種の修行の一つで「書写行」といいます。

写経するお経って何？

そもそも写経で書写される仏教の経典は、今から二千五百年ほど前に、インドでお生まれになったお釈迦様が三十五歳で悟りを開き、生きとし生けるものすべてを救うために説かれた教えです。

そして、その教えを正確に伝える為に行われてきたのが書写だったのです。大乘経典は主にサンスクリット語で書かれ、日本でもなじみのある「法華経（妙法蓮華経）」「般若経」「華

厳経」などが含まれています。この仏教はインド西域から中国へ伝えられたので、北伝仏教（大乘仏教）とも言われています。この大乘経典には経典を書写することで得られる功德がたくさん書かれており、当時は大乘仏教が広まれば広まるほど、写経も盛んに行われてきました。

一方、戒律を重んじる仏教は、南伝仏教（小乗仏教）とも呼ばれ、スリランカ、ビルマ、タイなどインドから南方に伝えられました。しかし南伝の経典には経典を書写することの功德が殆ど説かれておらず、口で称え合うことが中心だったようです。

三世紀頃になると、中国では竺法護や鳩摩羅什

といった僧が西域から主な大乘経典をもたら
し、翻訳し、中国仏教へ大きな影響をあたえま
した。

その後、日本に仏教が伝えられたのは古墳
時代(五三八)で、奈良時代(七二七)になると
国家をあげて仏教の普及に取り組み、全国に寺
院を創建し、僧侶の数が急激に増えました。
また、「法華経」をはじめ、多くの経典には写経
の功德が力強く説かれており、その功德を念
じて国家の安泰と繁栄を祈り、たくさんの方
典が書写されました。鎌倉時代以降(一一八
五)になると経典を広める為の写経はだんだ
んと姿を消し、個人の修行や供養・祈願の為
に行われる写経へと変わっていき今日に至ります。

Q 写経の功德って何？

法華経には写経の功德が各所で説かれて
いますので、一説を紹介いたします。

「妙法蓮華経如来神力品第二十二」には「汝等
如来の滅後に於いて、應當に一心に受持・読誦・
解説・書写し・説の如く修行すべし」と説かれ「お
釈迦さまの滅後には受持・読誦・解説・書写の五
種の修行をすべし」とお示しになっておられます。
したがって、私たちが写経をするといふことは、
お釈迦さまの教えに従つていふことなのです。

また「妙法蓮華経普賢菩薩勸發品第二十八」
では「もしこの法華経を受持し読誦し正憶念し
修習し 書写するといふ者は まさに知



るべしこの人は 釈迦牟尼佛を見るなり 佛口
よりこの経典を聞くが如し まさに知るべしこ
の人は 釈迦牟尼佛を供養するなり まさに
知るべしこの人は 佛善哉と讃む まさに知
るべしこの人は 釈迦牟尼佛の御手をもってそ
の頭を摩するを得ん まさに知るべしこの人は
釈迦牟尼佛の衣に覆わることを得ん」と。

このように法華経を信じ、お釈迦さまに感
謝の気持ちを入れて写経をすると、ありがたい
功德が得られたという、実際のお話が日本の
古典の中にもたくさん出てまいります。例え
ば「罪業を重ねた人でも、心を改めて仏道に
励むことによって成仏できた」とか、「地獄に墜
ちてしまった母のために法華経千部を書写し、

その功德によって母が切利天とつりてんへ生まれ変わる
ことができた」また、「法華経を書写している
人の悪口をいった者の口がゆがみ、顔がねじれ
てしまった」などなど。

こうして人々が法華経を信じて実践するこ
とによって、ますます噂が広まり、信仰者が増
えていったのではないかと思います。

ただ、功德とは眼にみえる、形にあらわれたも
ののように理解されがちですが、決してそのよ
うなものとは限りません。現代の生活環境の中
において静寂につつまれた空間で雑念を捨て、
何事にもとらわれずに写経に専念できるとし
たら、こんなに素晴らしいことはありません。
無心に写経をするということによって煩わしい執着が

ら解放され、心にゆとりが生じて、すがすがしい
気持ちで仕事ができ、おだやかな生活が送れる
なら、実にすばらしい功德ではないでしょうか。

「功德」とは、欲望を満足させてくれる有形
のものではなく、精神的なゆとりを与えてくれ
る無形のものであり、それが仏教の持つ真
の教えなのではないかと思えます。

写経の作法についてあるの？

写経には所作とについて、順番通りに定められ
た作法があります。例えばゆつくり墨を擦った
り、正座して合掌したり、マスクのような覆面瓠ふくめんこ
をつけたりと、いろいろあるのですが妙法寺の
写経会ではそのようなことはしておりません。

椅子席もあり皆様それぞれのペースで、まわり
に迷惑をかけないように、気持ちよく写経して
いただいております。また、初めての方でも安
心して写経できるように、写経用具一式(筆は
ご持参下さい)を無料貸出しており、写経用紙
も一枚ついております。

写経会のご案内

年内に予定されている写経会は次の通りです。
この機会にぜひご参加ください。

【日程】 ● 九月十九日(水)

● 十月十九日(金)

● 十一月十九日(月)

● 十二月十九日(水)

午前十時

【時間】 書院二階

【場所】 千円(お一人様/回)

【参加費】 ※初めての方も会員の方も一律で、おにぎりが付きます。



かわら版

当山の行事やご祈願などをご案内するコーナーです。

第七百三十七遠忌

◎ 宗祖 報恩お会式

本年は日蓮大聖人第七百三十七遠忌に当たります。当山では、次の日程にて報恩お会式を奉行いたします。日頃よりご守護頂いている日蓮大聖人に報恩感謝の気持ちをご捧げる何よりの機会



です。ご家族・ご友人をお誘い合わせの上、ご参詣下さいませよう。皆様ふるってご参加下さい。

■十月十二日(金)

お題目道場
…十一時・十三時

■十月十三日(土)

自我偈読誦会…十時・十三時(祖師堂)
お説教…十二時(本堂)
万灯練り供養…十九時(雨天中止)

宗祖報恩お会式



《自我偈読誦会》ご参加のお勧め

○参加費 五千円也

(昼食・お経頂戴・お札代含む)

お自我偈は、法華経の中心となるお経です。お会式の法要に参加し、お自我偈を読誦して日蓮大聖人の御心にふれ、報恩感謝の誠を捧げて下さい。仮名つきのお経本をご用意しております。初めてのの方も、是非ご参加下さい。

《日蓮大聖人報恩感謝の塔婆》

○報恩感謝塔婆 一本 三千円也

(申込〆切 十月十日迄)

《お花講》ご参加のお願い

■十月八日(月)…九時

宗祖報恩お会式に備え、当山の祖師堂をお飾りするお花造りを致します。参加費は無料でお開帳・昼食の用意がございます。皆様ふるってご参加下さい。



お稚児さん参加のご案内

天童とは仏さまの化身と言われ、穢れ無き稚児にその魂が宿るとされてきました。

そして、行事の時には綺麗にお化粧をし、華やかな衣装を着てお仕え致します。そうすることによってみ仏に守っていただき、健康で良い子に成長するようになります。

妙法寺では法華千部会と御会式の時に天童稚児行列を行なっております。

この機会にぜひご参加いただき、お子様の身体健全・発育増進をご祈念されてみてはいかがでしょうか。



▲衣装をまとったお稚児さんたち
▼妙法寺本堂前にて記念撮影



●天童稚児 一名 五千円也
(貸衣装・記念写真含む)

- ◆お札・お守り・お菓子がいただけます。
- ◆昼食は申込み者と付き添い人一名分の軽食とドリンクをご用意いたします。
- ◆対象者は幼児から小学生まで。
- ◆普段着でお越し下さい。

◎妙法寺団参のご案内

妙法寺では年に一度、参加者の皆さまと和やかな雰囲気の中、日蓮聖人ゆかりの地へ団体参拝(定員制)をしております。

本年は、身延山久遠寺と静岡本成寺へ日帰り参拝予定です。

詳しい行程などは寺務所までお気軽にお問い合わせいただき、ぜひご参加ください。

- 〈日時〉 十月二十一日(日) …七時三十分～
- 〈集合〉 祖師堂 …七時
- 〈定員〉 四十名様

●旅行代金 一名 一万円也

(御開帳料含む)

◆御首題料は(ご希望の方のみ)当日申し受けます。

◎二十三夜尊大祭

二十三日の夜、月待ちをすれば願いが叶うとされた「二十三夜信仰」。財運・縁結びを二十三夜様にお願ひする大祭です。



- 〈日時〉 十月二十三日(火) …十三時
- 〈場所〉 祖師堂西内陣

◆特別祈願

(商売繁昌・良縁成就・他)

○祈願料 五千円也 (お札・お守り・絵馬授与)

◎ 妙法寺門前通り商店会

妙法寺では境内を開放し、妙法寺門前通り商店会主催のイベントが行われております。子どもから大人までふれあうことの大切や、おもてなしの心を実感し、大いに賑わっています。



■ 〈千日紅市の予定〉十一月三日(土)

■ 〈場所〉 妙法寺境内

■ 〈問い合わせ先〉 〇三・三三三・一・〇七二五(清水屋)

◎ 七五三詣

お子様・お孫様の健やかな成長をご祈念する「七五三のお祝い」のご祈願をお受けしております。

○ 祈願料 五千円也 (お守り・お札・千歳飴・他)

◎ 記念写真も進呈します。

◎ お正月壹番開帳



妙法寺独自のお札です。新年最初のお札として元旦の午前0時に除厄安全・家内安全等をご祈願して授与いたします。

○ 祈願料 五千円也

◎ 常経施主



一年を通して、毎朝願主の除厄安全・家内安全等をご祈願するものです。お札を授与いたします。

○ 祈願料 壹萬円也

◎ 節分会

年の節目である立春の前日にお経を頂戴し豆まきをを行い、厄を除き、幸多き一年を願う行事です。



■ 〈日時〉 二月三日(日)

■ 法要……十四時半
豆まき……十五時頃

■ 〈場所〉 祖師堂

○ 年男女参加費 参萬円也

(お札・節分餅・節分豆・記念品沢山)

▼毎年多くの方で賑わう妙法寺の節分会



妙法寺 から版

〈電話〉03-33313-6241

についてのお問い合わせは、お気軽に寺務所まで。

2015年誕生した 中高一貫イノベーションコースが 高校へ進学！

東京立正
中学校
高等学校

▲高校から一緒に学ぶ、カンボジアの高校生たち

▼一期生の
カナダ・トロント研修旅行

一期生たちは三月六日から

十四日まで研修旅行としてカナダ・トロントに行きました。そして三月十九日に中学卒業式、

四月七日には入学式が行われ、

中高一貫イノベーションコース十

二名が高校一年に進級しました。

本コースは中学校で様々な教育を受けました。高校でもさらに深い学びを実現するためのカリキュラムが設定されています。その一つとして国際性や英語教

育の充実を目指しています。英語教育では中学校で行われていたオンライン英会話をさらに充

たオンライン英会話をさらに充

実させ、英語四技能「話す・聞く・

書く・読む」の向上のためにフィリピン講師による週一回三十分

間に拡大したオンライン個別学習が実施されています。また、

いま求められている学力の三要素の内「思考力・判断力・表現力」

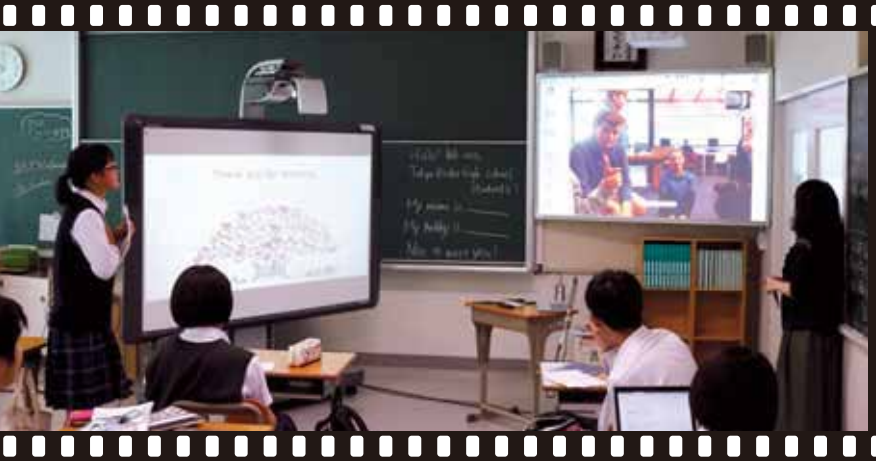
「主体性・多様性・協働性」の能力を高めるプログラムも行われています。高校一年次からイ

ンターネットを使って東南アジア・カンボジアの高校生と一緒に国

連の「持続可能な開発目標」十七のテーマについて学び、両国の

課題について意見交換が行われる予定です。その雰囲気は先日

▼ニュージーランドの生徒とSkypeを使って意見交換をする生徒たち



イノベーションコース一年生が行った自作パワーポイントを使ってSkypeでニュージーランド

の生徒と意見交換が行った状況と同じであると感じています。本校生徒たちは一生懸命英語によるプレゼンテーションを

行い、現地生徒からは様々な質問が出ました。このような環境をカンボジアの生徒たちとも繋げたいと思います。

そして高校二年次にはカンボジアを訪問し、現地生徒と一緒に「現地を見ながら「課題解決型研修」を実施する予定

です。

今後の中高一貫イノベーションコースの発展を見守っていただければ幸いです。

ただ、今後の中高一貫イノベーションコースの発展を見守っていただければ幸いです。

Open Campus

全てはコミュニケーションから始まります。

東京立正短期大学
現代コミュニケーション学科
(共学)

現代
コミュニケーション
専攻

幼児教育
専攻
保育士・幼稚園教諭
養成課程

心理
コース

ビジネス
コース

観光
コース

本学の
奨学金制度を
ご利用
ください。

私たちが持っている!!
心を通じ合い、互いに信頼し、受け入れ合うチカラ。

SCHEDULE

オープンキャンパスの日程

平成30年: 9月 8日(土)
9月15日(土)
10月23日(土)
10月27日(土)
11月 3日(土)
11月24日(土)
12月22日(土)
平成31年: 2月 2日(土)
2月16日(土)
3月 9日(土)
3月26日(火)

全日程共に、
●10:30~13:00
の時間に開催
致します。

予約制

※日程が変更になる
場合がございます。
最新情報を
ホームページにて
ご確認ください。



東京立正短期大学
Tokyo Rissho Junior College

〒166-0013 杉並区堀ノ内 2-41-15 TEL 03-3313-5101 FAX 03-5377-7641
URL <http://www.tokyorissho.ac.jp/>



完全中高一貫プログラムのグランドデザインで
国際社会での活躍を目指した
真のグローバルリーダーを育てています。

まずは、学校説明会・ホームページへ。

平成31年度入学者対象 学校説明会日程

中学校

平成30年 9月12日(水) — 10:00
平成30年 9月29日(土) — 13:00 ☆
平成30年10月20日(土) — 14:30
平成30年11月10日(土) — 10:00
平成30年11月17日(土) — 14:30
平成30年12月 8日(土) — 10:00
平成31年 1月12日(土) — 14:00

高等学校

平成30年 9月30日(日) — 10:00 ☆
平成30年10月13日(土) — 14:30
平成30年10月27日(土) — 14:30
平成30年11月10日(土) — 14:30
平成30年11月24日(土) — 14:30
平成30年12月 1日(土) — 14:30
平成30年12月 8日(土) — 14:00

※☆の日は学園祭を予定しています。

いずれも、会場は本校です。上記日程は変更になる場合がありますので、必ず最新の日程をホームページで事前確認の上、お越し下さい。



学校法人 堀之内学園

東京立正 中学校
高等学校

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15
TEL 03-3312-1111 FAX 03-3312-1620

URL <http://www.tokyorissho.ed.jp/>



仏壇・仏具・位牌
みす平は創業300有余年の神・仏具の専門店
 オーダーメイドでの仏壇製作から、古くなった仏壇・仏像・お位牌
 などの修理、修復も承ります。



良品
安値!

みす平は10年後、20年後の信用を大切にします。

神・仏具のみす平
 株式会社 **みす平飛天堂**
 ☎ 042-334-9981 FAX 042-334-9982
 〒183-0045 東京都府中市美町1丁目30番地の13
<http://www.misuhei.co.jp>

墓石・記念碑門塀
 諸石材工事
 有 限 会 社
 マサ

中島正石材

〒一六六・〇〇一三 東京都杉並区堀ノ内二二二二
 TEL 〇三(三三二六) 八八四六代
 FAX 〇三(三三二六) 八八二二

清水屋
 御菓子司



〒166-0013
 杉並区堀ノ内 3-48-3 ☎ 03-3311-0725
 【営業時間】和菓子 ◆ 10時～17時
 手打ち蕎麦 ◆ 11時～18時(以後はご予約のみ)
 ◆ 火曜日：11時～15時
 ※いずれも蕎麦がなくなり次第終了
 【定休日】和菓子 ◆ 火・水曜 ※三のつく日は共に営業
 手打ち蕎麦 ◆ 水曜 致します。(振替休日有)

ご葬儀をご想儀へ

ムラカミの安心と信頼が
 皆様の想いを
 サポートいたします。

ご家族葬から
 社葬・団体葬までご対応。
 1級葬祭ディレクターが
 責任を持って担当いたします。

365日24時間 自社所有の
 寝台車による速やかなお迎え。
 霊安室も完備しております。

葬祭業安心度調査
 AAA評価

JECIA格付
 ★★★★★認定

村上葬祭
株式会社 ムラカミ

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-28-2
<http://www.murakami-sousai.co.jp>
 ご葬儀・ご法要をはじめ、ご不明な点について、
 無料でご相談にお応えいたします。
 24時間・365日ご対応 ☎ 0120-711-556

編集後記

最近の地球は少し様子がおかしいと思う。
 世界的にも冬には大寒波、夏には熱波・大洪水・炎暑など、ショッキングな
 活字が紙面をかざる。そして、多くの命が災害や事故などで失われていく
 のはとても悲しい。老いも若きも命の尊さに変わりはない。
 しかし、どんなに人類の叡知を集めても、森羅万象に対し人間は無力
 である。いかなる時にも自然の摂理に従い、自らの体力・気力を維持する
 だけで精一杯である。
 小生も毎朝一粒の梅干しを食し、
 サプリメントなどを摂らずに、この老体
 にムチ打ち日々過ごすのみである。

教雄記

教誌編集委員

委員長	小田田	教雄
委員	嶋田	教豊
	吉田	教理
	山田	教深
	山形	教亨
	石川	教義
	宇都宮	教厚
	亀井	教宝
	望月	教隆
	戸田	教秀
	藤原	教宣
	望月	教善

はつら